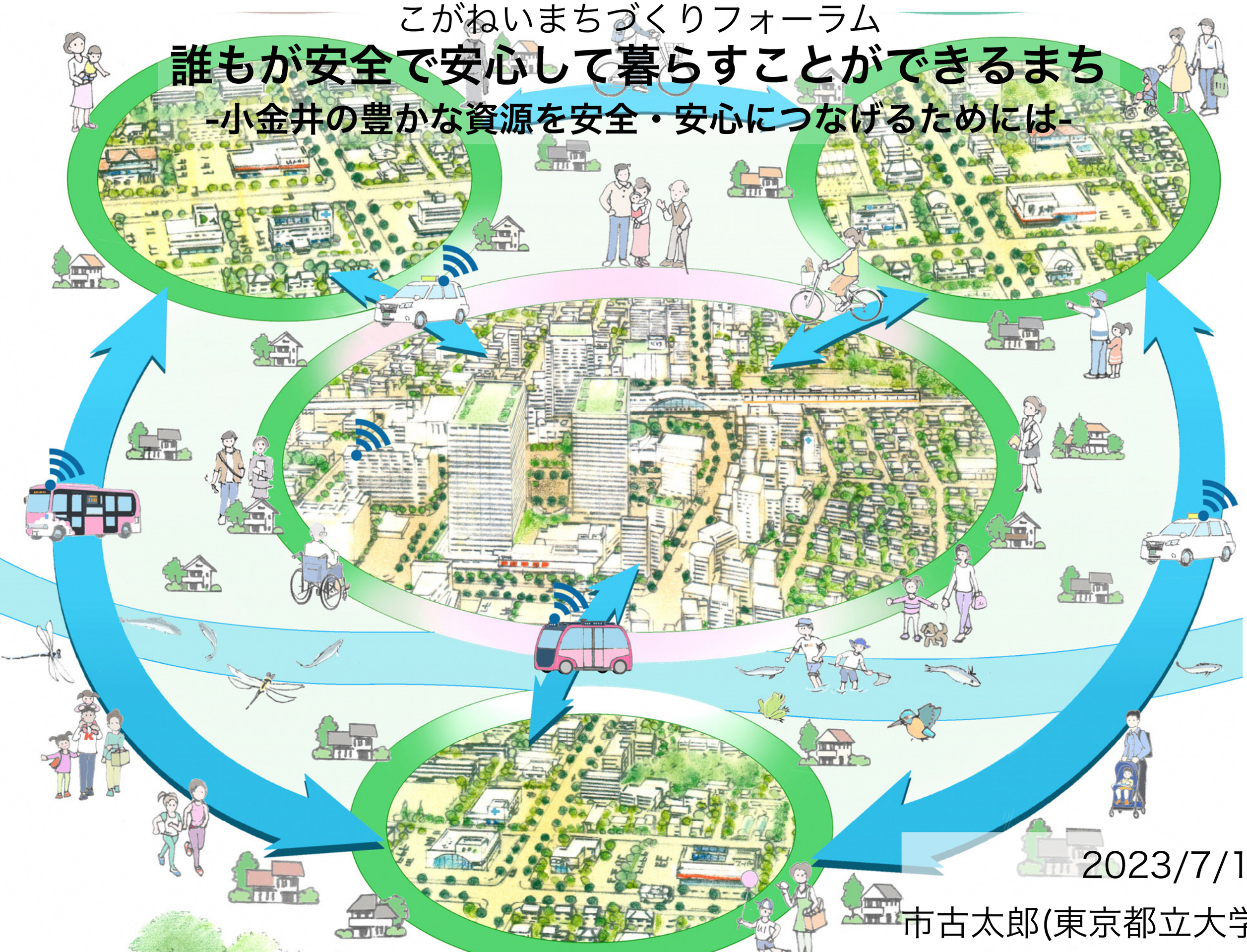
こがねいまちづくりフォーラム

誰もが安全で安心して暮らすことができるまち

-小金井の豊かな資源を安全・安心につなげるためには-



2023/7/19

市古太郎(東京都立大学)

本日お話する内容のアウトライン

1.まちづくりの目標は「ものづくり」ではなく「ことづくり」

・都市計画の目標は「モノ」ではなく「コト」.

・国土交通省（2020）市街地整備2.0／「つくる」から「つかう」へ.

2.武蔵小金井駅・東小金井駅の駅まち空間整備と帰宅困難者対策

・池袋駅周辺安全確保計画とブランディングワークショップ.

・災害情報に基づくスマートな個人対処+要配慮者への災害時対応

・鉄道+百貨店若手スタッフによるブランディングワークショップ

3.公立小中学校と都市公園の防災施設（トイレ・給水・カマド）

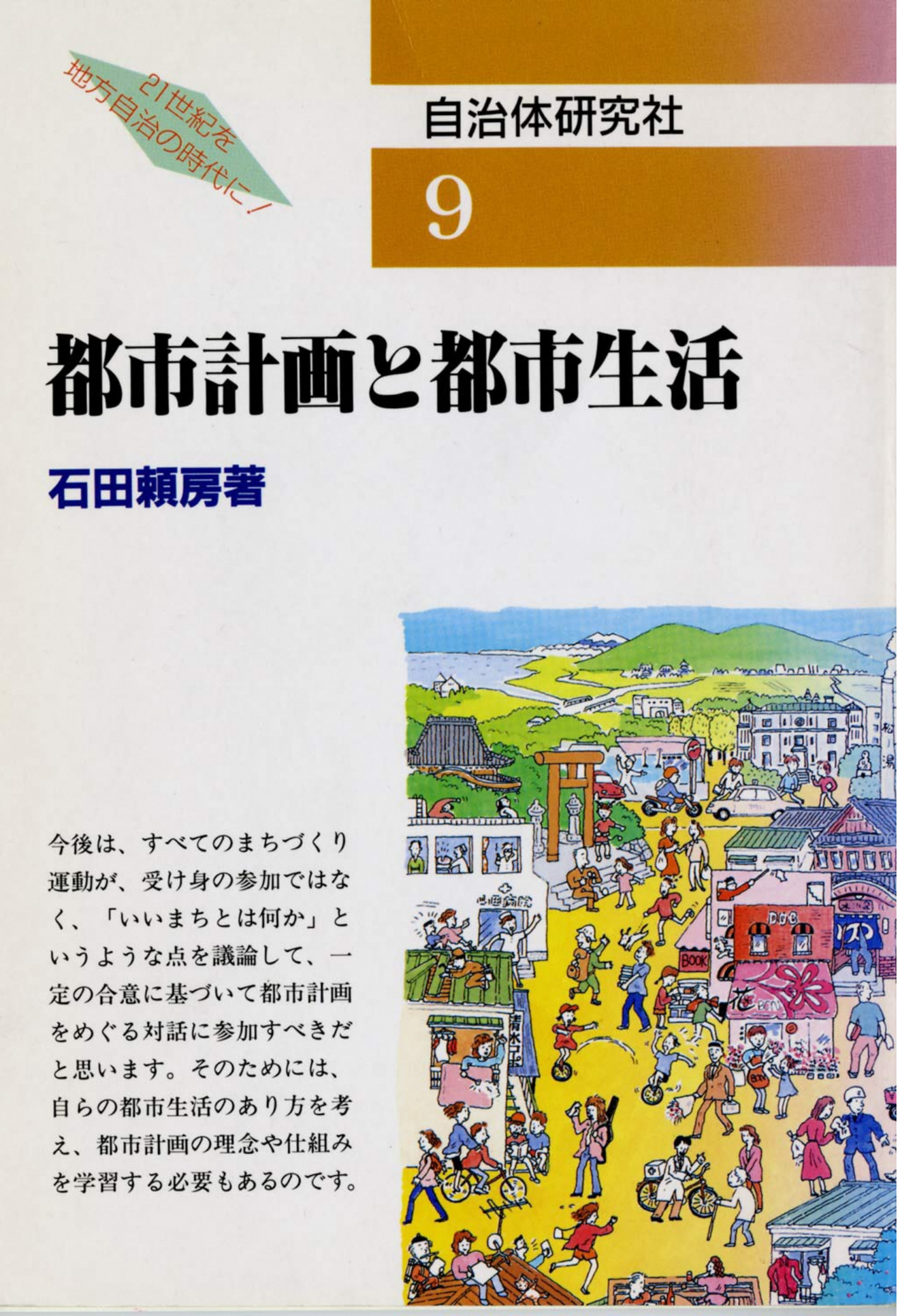
・災害避難所としての公立小中学校. 生徒・保護者・学校組織・地域が「防災」をキーワードにつながる場

・防災公園のあり方=事前の公共投資+平時の地域での使いこなし+防災訓練

・生鮮野菜が提供される都市農地と親子参加の防災点検

4.小金井の豊かな資源を安全・安心につなげるために

・日常の魅力的なまちづくり「の中に」防災がある



石田頼房（1993）

都市計画とは，ものづくりを通してことづくりを実現する（貢献する）もの

計画の目標は，ことづくり（たとえば，のびのびと公園で子どもを遊ばせたい）．

今までの都市計画は，なにかつくることに傾斜しすぎていたように思います

都市計画が最終的にめざすのは，都市の形態ではなく，快適な都市生活，安全で効率的な都市活動の実現です．しかし，都市計画は，都市空間形態の実現を通して，快適な都市生活，安全で効率的な都市活動を実現するのです．

都市計画とは，計画という仕事を都市空間という場で行っているのです．

今後の市街地整備のあり方に関する検討会とりまとめ（概要）　【令和２年３月】

市街地整備2.0 『「空間」・「機能」確保のための開発』から『「価値」・「持続性」を高める複合的更新』へ

市街地のあり方

【市街地に対する評価軸の変化】

○価値観等の変化により市街地に対する評価軸は、**「空間がもたらす機能」**から、**「アクティビティがもたらす価値」**へと大きく変化

【都市政策の方向性の変化】

○国レベル　：**持続可能で人間中心のまちづくり**（Society5.0、SDGs、ウォーカブル　等）

○現場レベル：**地方都市と大都市とで異なる課題**が顕在化（地域活力維持向上、国際競争力強化　等）

【求められる市街地のあり方の転換】

○「機能純化」を基礎とした「合理的な市街地」から「**様々なアクティビティが展開される、持続可能で多様性に富んだ市街地**」へ

市街地整備のあり方

【市街地整備が直面する課題】

○求められる市街地を実現する上で、**堅牢性の高い建物（ビル）・都市基盤等の老朽化・陳腐化、人口減少・超高齢化、国際競争の激化、高まる災害リスクといった課題への対応は必須**

○個々の建物・都市基盤等の課題のみならず、複合的な課題に対し、個々の構成要素や一部の性質だけに着目せず、**エリアを見渡したトータルな視点から課題を把握し、解決を図ることが重要**

【市街地整備の進め方の転換】

～市街地整備2.0
『「空間」・「機能」確保のための開発』から『「価値」・「持続性」を高める複合的更新』へ～

○行政が中心に公共空間確保・宅地の整形化・建物の不燃共同化を大規模に志向した開発から、「**公民連携**」で「**ビジョンを共有**」し、「**多様な手法・取組**」を組み合わせて、「**エリアの価値と持続可能性を高める更新**」へ

○その際、**地方都市と大都市の違いを認識した上で戦略を立てる**ことが重要

市街地整備手法のあり方

【総論】

～スピーディで柔軟な
機能更新型市街地整備手法の連鎖的展開～

○目指すべきビジョンを実現しエリアの価値向上を図るには、**面的・時間的なつながり**を意識し、**多様な手法を組み合わせ**、**できることから、早く、柔軟に、連鎖的に展開**していくことが必要

○老朽化・陳腐化した**ビルや都市基盤の再構築**が課題

○社会的背景の変化により**高度利用等の考え方についても多様化**しつつあることに留意し、強制力のある**法定事業も有効活用**すべき

○持続可能性確保・競争力強化の観点から、**都市機能立地等の再編の受け皿となる市街地の再構築**が必要

○近年の水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、**水災害リスクへの対応を含め、安全な都市形成**が必要

○**多様な地域活動との連携**等、空間のみならず**持続的に価値を生み出す地区経営の視点**が必要

【各論】

①老朽化・陳腐化したビル群の再構築

○**再々開発を含めた再開発の適切な運用**に向け、今の時代に合った施行区域要件等の考え方について明確化すべき（柔らかい再開発）

○既に一定の整備がなされた市街地においては、次に掲げるような**事業推進上の課題に対応**すべき

・更なる高層化・大規模化が必要とされていない地区における**事業成立性の向上**

・従前建物に高層RC建物が多い場合に、**従前建物の除却期間の長期化へ対応した事業期間の短縮**

○権利関係が複雑な非住宅ビルについて、市街地再開発事業に準じた権利変換手法等、**建替え等の円滑化方策を検討**すべき

②都市機能立地等の再編の受け皿となる市街地の再構築

○区画整理・再開発の一体的施行等**様々な手法を柔軟に組合せた市街地整備**を一層推進すべき

○新たな基盤整備を行わない等、既成概念にとらわれない、**都市基盤の柔軟な再構築等**を更に推進すべき（リノベーション型区画整理）

○都心部等における**都市基盤等と敷地・建物の立体的・重層的空間利用**や**駅と周辺市街地の一体的再構築**を推進すべき

○**立地適正化計画の実現や都市のスマート化に資する市街地の再構築**を推進すべき

③防災・減災に資する市街地整備

○地域のハザード・リスク情報の評価のあり方等の検討を踏まえ、**土地の嵩上げ、避難空間・避難路の確保等を推進**するとともに、**災害を防止または軽減するための対策を促す方策について検討**すべき

④多様な地域活動との連携

○事業期間前後の時間的連動や、事業区域周辺との空間的連携等、**事業後のエリアマネジメント活動等の展開を視野に入れた市街地整備事業**を推進すべき

○各都市・地域において、**担い手の確保・育成**を図るとともに、専門家が有するノウハウの共有等を通じた**技術継承**を推進すべき

今後の課題

○この他、今回中心的に取り扱った「まちなか」以外の市街地の課題、時代の変化を踏まえた市街地整備の目的や仕組み等のあり方について、引き続き、検討を深めていくべき

国土交通省（2020/3月）市街地整備2.0

都市再生安全確保計画制度 （都市再生特別措置法第19条の15等）

国土交通省

大規模な地震が発生した場合における都市再生緊急整備地域内の滞在者等の安全の確保を図るため、都市再生緊急整備協議会が都市再生安全確保計画を作成し、計画に基づく官民連携の取組を推進している。 （改正都市再生特別措置法（H24.7～））

背　景

◆　東日本大震災の際に、管理者の異なる様々な施設が集積する大都市の交通結節点周辺等のエリアにおいて、**避難者・帰宅困難者等による大きな混乱が発生**。

◆　首都直下地震等の大規模な地震が発生した場合には、建物損壊、交通機関のマヒ等により、**甚大な人的・物的被害**が想定。

⇒ **官民の連携によるハード・ソフト両面にわたる都市の安全確保策が必要**

法案の概要

都市再生安全確保計画制度の創設

○　都市再生緊急整備地域（全国51地域を指定）の協議会（国、関係地方公共団体、都市開発事業者、公共公益施設管理者等**（鉄道事業者、大規模ビルの所有者・テナント等を追加）**からなる官民協議会）が、大規模な地震の発生に備え、
- 退避経路、退避施設、備蓄倉庫等（都市再生安全確保施設）の整備・管理
- 退避施設への誘導、災害情報・運行再開見込み等の交通情報の提供、備蓄物資の提供、避難訓練

等について定めた計画（都市再生安全確保計画）を作成できることとする。

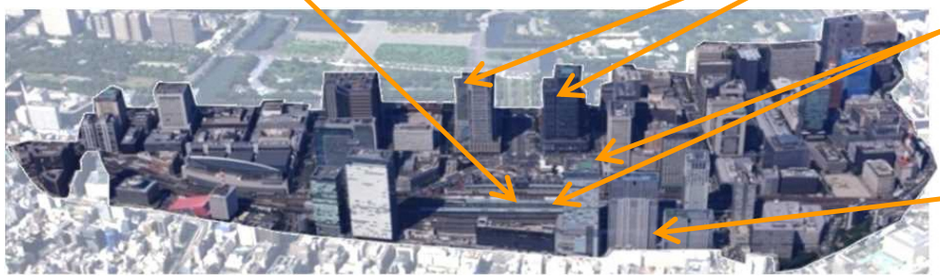
○　計画に記載された事業等の実施主体は、計画に従って事業等を実施。

都市再生安全確保計画の作成、計画に記載された事業等の実施に対し**予算支援**

＊下線は法律の特例

一時退避の誘導と経路の確保
- 地震発生時に、鉄道駅やビルから円滑に誘導・誘導のための情報発信設備を整備
- 退避経路の協定（承継効付き）により関係者による継続的な管理を担保

避難訓練
- 平常時からの訓練



退避施設の確保
- 鉄道駅、オフィスビル等に退避施設を確保（数日間滞在）
- 退避施設の協定（承継効付き）により関係者による継続的な管理を担保

情報提供
- 災害情報、交通情報等の提供

耐震改修等の促進
- 建築確認、耐震改修等の認定等手続を一本化

備蓄倉庫等の確保
- 計画に記載された備蓄倉庫等の部分を容積率不算入
- 地方公共団体との管理協定（承継効付き）により継続的な管理を担保
- 都市公園に備蓄倉庫等を設置する際の占用許可手続を迅速化

都市における大規模地震発生時の安全を確保

池袋都市安全確保計画（2018）施設整備方針

池袋駅周辺のまちづくり（都市再生整備事業）

■補助173号線
・平成２９年度末開通予定

■池袋駅西口地区まちづくり
・平成２７年12月　準備組合設立
●国家戦略都市計画建築物等整備事業適用予定
・平成２９年４月　事業区域の拡大

※三菱地所より提供

■東池袋一丁目地区まちづくり
・平成29年3月　準備組合設立

特定都市再生
緊急整備地域

■Hareza 池袋（ハレザ イケブクロ）
8つの劇場が生み出す圧倒的なにぎわい
「国際アート･カルチャー都市」のシンボルプロジェクト
・平成３１年秋　新ホール・新区民センターのオープン
・平成３２年春　オフィス・商業施設を含むグランドオープン
●国家戦略民間都市再生事業適用予定（平成２８年度）

■（仮称）東池袋一丁目シネマコンプレックスプロジェクト
・平成３１年度竣工予定

■エリアマネジメントに係る道路法の特例
●国家戦略道路占用事業認定
・平成28年4月13日
・平成29年度　定期的なイベント開催

■副都心内を回遊する新たな公共交通（LRT等）のイメージ

■池袋西口公園の再整備
・国際アート・カルチャー都市の実現に向けた公園の劇場化（大規模改修）

■東西デッキ
（特別区道１２－６８０上空）
・平成２９年度工事着手
・平成３１年竣工予定

■西武鉄道池袋ビル建替え計画
・平成３１年３月竣工予定
●民間都市再生事業計画認定
・平成２７年１０月１６日

西武鉄道HPより

■藤久ビル東五号館
・平成２９年６月竣工予定

■南池袋公園リニューアル
・平成２８年４月2日　オープン
・グリーン大通りと連携したマルシェ開催予定

■新庁舎整備
・平成２７年３月竣工
・南池袋二丁目A地区市街地再開発事業

■環状5の1号線
・平成３１年度末開通予定

■南池袋二丁目C地区まちづくり
・平成28年3月　準備組合設立

■造幣局地区街づくり
・平成31年度末 防災公園開園予定

■補助81号線
・平成３１年度末開通予定

■東池袋五丁目地区
市街地再開発事業
・平成26年8月都市計画決定
・平成29年4月工事着手

■造幣局南地区まちづくり
・平成29年3月　造幣局南地区まちづくり構想

■東池袋四丁目２番街区
市街地再開発事業
・平成２９年３月都市計画決定

池袋都市安全確保計画とブランディングワークショップ-安全･安心をまちのブランドに-

1　目的・位置づけ

（1）目的

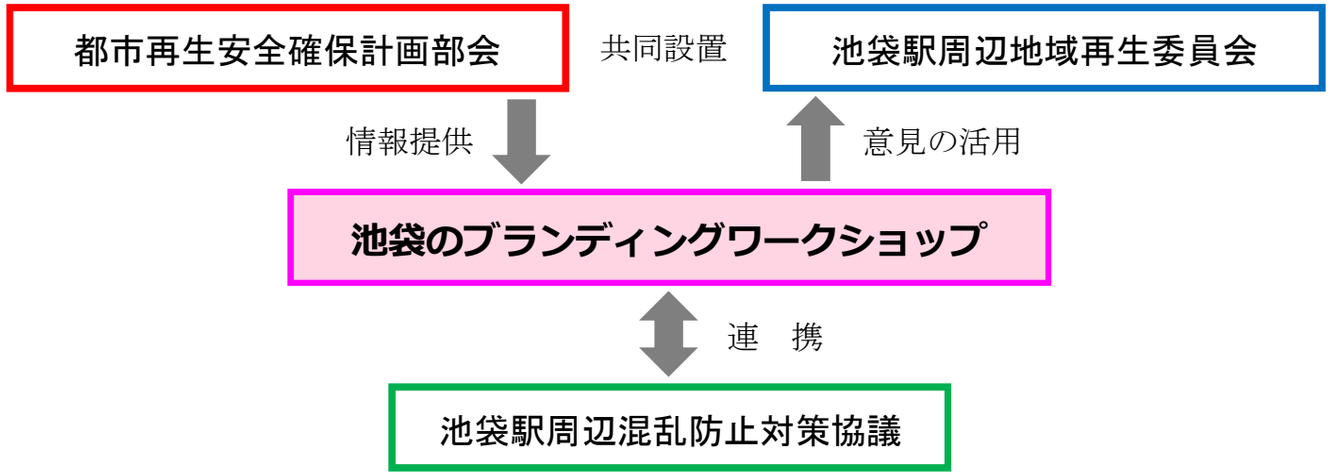
〇池袋駅周辺では、平成 28 年度に策定した「池袋駅周辺地域都市再生安全確保計画」や「池袋駅地下街防災推進計画」などに基づき、施設整備が促進される見込みである。

〇こうしたハード整備に加えて、災害時の避難誘導や情報提供など、ソフト対策の強化・充実が不可欠である。

〇そこで、災害時に池袋駅で想定される事象や対応する際の不安、平常時も含め危険な箇所などの情報を、関係する事業者が意見交換および共有し、今後の取組に反映していくことで、平常時も踏まえた災害時（非日常時）の備えを強化し、「いざという際の安心感」を高め、池袋駅周辺地域のブランディングにつなげていくことを目的とする。

都市再生安全確保計画部会

（2）位置づけ



2　構成員

〇事業者（災害時、池袋駅の利用者や買い物客等の対応に主に従事される方）

JR 東日本、東京メトロ、西武鉄道、東武鉄道、西武百貨店、東武百貨店（東武ホープセンター含む）、パルコ、池袋ショッピングパーク

〇豊島区

帰宅困難者対策訓練(情報ステーション)

池袋ブランディングワークショップ全体プログラム(2018)

1st WS: 駅利用者の視点で発災時の不安を共有する (6/14)

・池袋のまちづくり状況の共有（都市開発，観光振興，女性にやさしいまちづくり，都市安全確保計画）

※ブレーンストーミング：駅利用者視点で大震災遭遇時の不安を考えてみる.

2nd WS: 池袋駅地下街点検と資源マッピング (7/26)

・3 コースに分かれ，現場点検．それぞれの箇所で事業者が資源等を説明.

・点検結果を課題と資源という点からマッピング

※現場点検とマッピング

3rd WS: 滞留者の視点で帰宅までのシナリオを考える (9/28)

・4 つのフェーズ：①発災直後，②残留・退避，③当日夜，④翌日で各ロールが抱える不安と行動について検討

・ロールによる情報ニーズの相違を共有

※来街者なりきりロールプレイ

4th WS: 池袋駅の資源マップと帰宅シナリオの検討 (11/22)

・高齢者・母子・外国人など属性別の支援策の検討

・事業者側の情報共有・情報提供手段の確認

・全体討議：仕事人と個人のスイッチ

※ブレーンストーミング，全体ディスカッション

池袋ブランディングワークショップ第2回現地点検(7/26)のまとめ

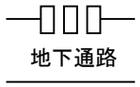
第３回 池袋のブランディングワークショップ ｜ 池袋駅の地下空間に関連する「資源＆課題と改善アイデアマップ(案)」

※第１回および第２回ワークショップで議論した具体的な資源や課題等をマッピング化しました。

資料２

《改札口周りの空間の改善》

改札口と通路との間に空間を設けることで、混雑等の対策に有効ではないか
例）【副都心線西西口】
・改札口と通路との間に空間なし
⇒混雑時の原因（空間的）



【副都心線西東口】
・改札口と通路との間に空間あり

《バリアフリー対策》

バリアフリー設備がない
（エスカレーターと階段のみ）

《デジタルビジョンの課題》

ビル壁面のデジタルビジョンは電源が何時間もつのか
⇒アナログの垂れ幕なども利用して情報発信をしては

《通路空間の改善》

出入口の通路幅が狭い

プリズムガーデン

《待ち合わせ場所の活用》

待ち合わせ場所のわかりやすさを防災のわかりやすさに活用
⇒プリズムガーデン、アゼリアロード等を中心に整備

普段から人が集っている所で、災害時の情報発信（指示・指令）機能として活用
⇒プリズムガーデン（西口）
池ふくろう（東口） 等

《地上への出口をわかりやすくする》

地下通路を歩く際の目印として、プリズムガーデンや東京芸術劇場のアトリウムのような地上とつながる空間の整備

《誘導の工夫》

帰宅困難者タクシーの利用ルールの検討（西口駅前広場など）
⇒体調が悪い人、乳幼児を抱えた人などを優先
⇒誰が人員整理をするか
（地域スタッフ、警察等）

《水害対策の課題》

止水板の設置の際、エスカレーターを使用して板を地下から地上に持ち運ぶのは危険では

《バリアフリー対策》

バリアフリールートが少なすぎる。かつ、わかりにくい

池袋西口公園

《設置オブジェの課題》

公園内のオブジェは、地震の際に倒壊しないか

《備蓄品の供給》

練馬区から公園内に帰宅困難者等のための備蓄品が運ばれてくる（日本通運と協定締結）
⇒災害時に物資の搬送が可能か

オレンジロード

《一時待機場所の課題》

通路の耐久性・安全性は大丈夫か

通路内は暑く、夏は熱中症が心配
⇒高齢者、乳幼児は大丈夫か
⇒冬はアルミ毛布で対応できるが

《バリアフリー対策》

エレベーターの位置が遠く、奥まっているのでわかりづらい
（災害時に混乱するのでは）
⇒案内表示の整備

《バリアフリー対策》

バリアフリー設備がわかりづらい
⇒階段しかないように見える

WEロード

《通路空間の改善》

通路の天井が低い
⇒災害時の駅東西間の行き来の集中が不安

《一時待機場所の課題》

天井が低い通路空間が多い
一時待機場所とした場合、帰宅困難者等が空間を窮屈に感じ、ストレスを感じさせてしまうのでは

アゼリアロードは、送風（冷風）設備はあったが暑かった。冬は大丈夫か

《外国の方への対応》

東武鉄道コンシェルジュが昼～夜９時まで対応
⇒改札にある31か国対応のIpadで災害時に取り残されがちな外国の方の案内に役立てる

《地震対策のアピール》

地震対策を実施済みであることをわかりやすく伝える
例）西武百貨店階段脇

《通路空間の改善》

通路を曲がった先がどうなっているかがわかりづらく、人とぶつかる危険がある

《情報発信設備の改善》

サイネージのバッチパネルの反応が悪く使いづらい時がある

《避難時の案内誘導の改善》

中央通路や南通路は、災害時はどの方向へ向かうべきかわからなくなるのでは

《改札口周りの空間の改善》

改札口と券売機を近づける

《出入口空間の改善》

出入口の階段幅が狭く、建物自体も古く感じられるため、災害時の避難経路の確保が不安

南池袋公園に向かう地下通路

《既存施設の有効活用》

地下通路空間の有効活用
⇒滞在施設・誘導通路等

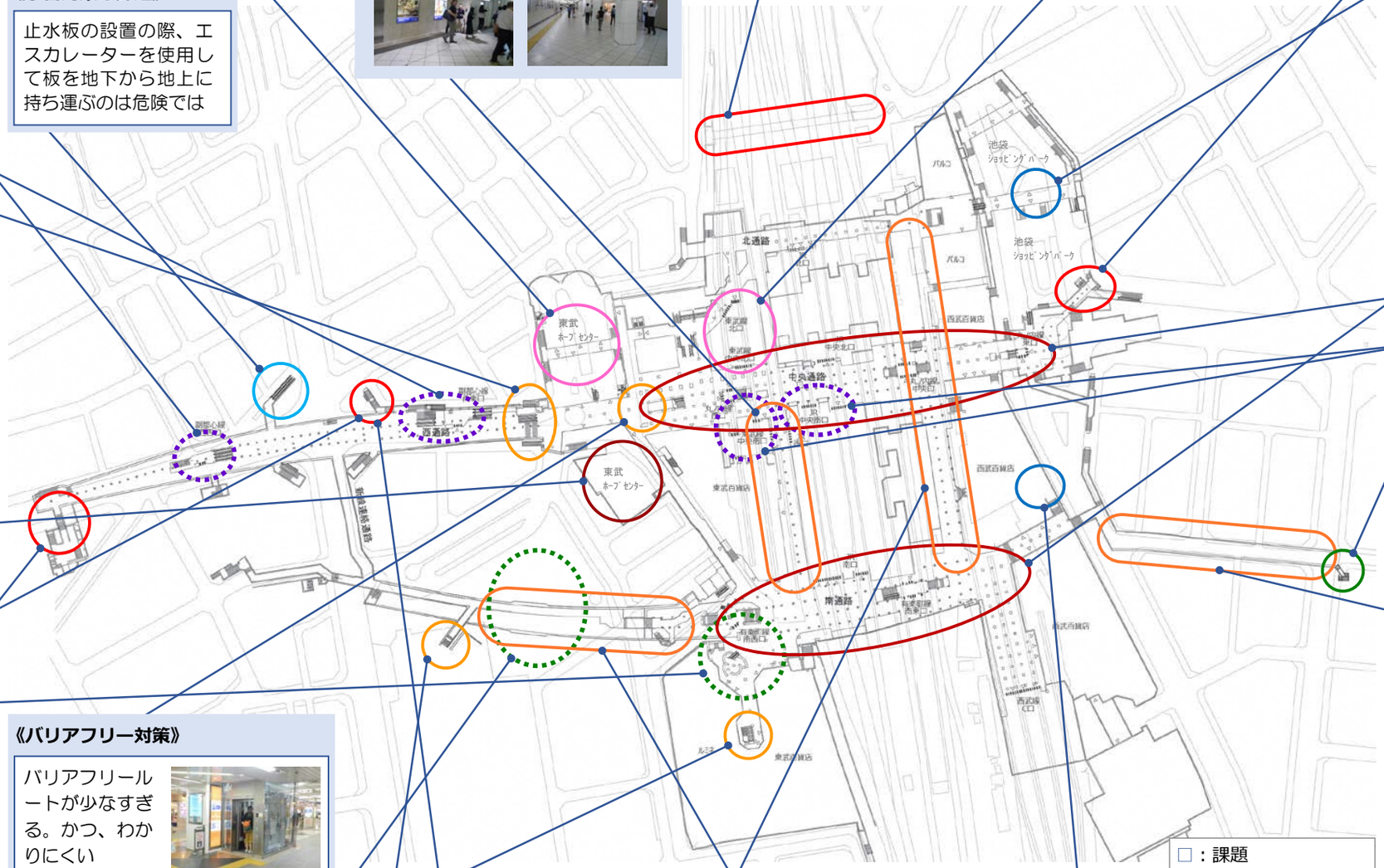
《照明の改善》

地下通路の照明がむきだしのため、大きな地震の時に落下してこないのか

地下通路の照明は、天井が低いため暖色系の色がいいのでは
（昼白色だと無機質な感じがするため）

《通路に名前をつける》

場所がわかるように、地下通路に名前をつける



□：課題
□：課題に対する改善策・アイデア

池袋ブランディングワークショップ第3回ロールプレイ

【ロールカード／子ども連れ①】

・あなたは、3 歳の娘をベビーカーで連れている主婦（41 歳）で、
現在、２人目の子どもを妊娠中（妊娠 5 ヶ月～7 ヶ月の安定期）です。

・池袋駅周辺の商業施設などでショッピング等を楽しんだあと、
西武池袋線／練馬駅周辺の自宅に帰るために、池袋駅にいました。
（※池袋駅は買い物等で月に１回ぐらい利用しますが、あまり詳しくはわかりません。）

（※（感情移入しやすくしたり、設定のつじつまが合っていない場合は）プレイヤー自信で、ある程度の設定変更も可（例えば自宅の駅の変更など））

《基礎条件》

A：来街目的	B：単身・複数	C：健康状態 身体能力	D：情報判断能力 日本語理解力	E：自宅に戻る ニーズ	F：自分で退避場所 等を確保できるか
A1：通学	B1：単身	**C1：健常者**	D1：外国人（日本語理解力：低）	**E1：高い**（家族等がいるため）	F1：確保できる
A2：通勤	B2-1：乳幼児１人（ベビーカー）	C2：足が悪い	D2：子ども（情報判断力：低）		
A3：買い物	**B2-2:乳幼児１人（ベビーカー）子供１人妊娠中**	C3：車いす利用	**D3：大人**	E2：低い（単身、独身のため）	**F2：確保できない**
A4：その他（非日常的なイベント等のため）					

準備したロール

R1.私立中学校二年生女子生徒(14歳)
R2.北米からの単独ツーリスト男性(42歳)
R3.健常者男性(56歳)
R4.練馬区に住む母親と3歳の娘
R5.東武線沿線に住む父親と2歳の息子
R6.車椅子利用の男性(43歳)
R7.少し歩行に支障のある高齢男性(83歳)

表３　池防災 WS 第３回時のロールプレイ・クエスチョン

フェーズ 1:本震と激しい揺れが収まった直後 Question：どうやって身の安全を確保しますか？
フェーズ 2:滞留・一時退避 Question：本震が収まった後，一時退避先としてどこに向かいますか？
フェーズ 3:発災当日の寝泊まり Question：当日の夜を明かす場所として，どこに向かいますか？
フェーズ 4:発災翌日以降 Question：帰宅判断と行動において，交通機関の情報に加えてどんな情報が求められるでしょうか

池袋ブランディングワークショップ第3回ロールプレイ

■ ワークショップでの主な意見　子供連れ

		フェーズ１：発災直後	フェーズ2：残留・退避	フェーズ3：発災当日の夜	フェーズ4：発災翌日の早朝
		Q：身の安全はどこで、どのように確保しますか？	Q：本震が収まった後、あなたはどこに移動しますか？（そのように考えた理由）	Q：一時滞在施設に行きますか？	Q１：鉄道再開の目途がたっていませんがどうしますか？ Q２：どんな情報があれば合理的な行動がとれますか？
こども連れ	① ４１歳主婦・妊娠中・娘３歳 ベビーカー・月１回利用	▲行動：安全な場所が分からずその場で自分の身で覆うようにベビーカーの子供を守る行動をとる。 ▲心情：急に揺れて暗い状況の中、子供が大声で泣き始め、自分もパニックになり帰宅を急ぎたくなる。地上に上がれず困惑する。 ■行動：その時にいた商業施設にてそのまま待機する。 理由：状況判断できる情報がないから。 ●行動：できるだけ地上階に向かい身動きがしやすい場所を確保する。 ●行動：人目があるところに行く。 理由：妊娠している身であることから自身が倒れた時に子供が心配だから。 ▲要望：階段を、ベビーカーを抱えて一緒に上ってくれる協力者。近隣商業施設のサポート。 ▲要望：もし帰れないなら子連れのママが待機できる場所を特設で設けてほしい。 理由：泣き声、授乳、おむつ替え ●要望：地上に上がる際ベビーカーを移動させるサポートがほしい	▲■●商業施設・▲●地上へ	▲行動：鉄道が全線運行停止という状況が分かった今、家族と連絡が取りたいと　公衆電話を探す。 ▲行動：南池袋公園で物資の配布を行っているという状況を受け、誰かの手を借りてなんとか目指す。たどり着いても子供の泣き声で肩身の狭い思いをする。 ■行動：一時待機場所に向かう 理由：情報や物資が集まりやすいから （西口=芸術劇場・東口=公園） ■心情：スムーズに向かえるかが心配 ●行動：改札口周辺（駅員が近くにいるところ）で様子を見る。 理由：最新の情報が入手できる可能性があることから ●行動：地上で雨風をしのげるところに行く。 ●行動：家族とのコンタクトを試みる。 ▲課題：一時間経過し化粧室にも行きたくなる頃である。ベビーカーと一緒に　入れる仮設トイレはあるのか。	▲南池袋公園・●改札・●地上・■一時待機場所	▲行動：NO 親戚、友人の家を探して何とか行き場を見つける。 理由：自分一人なら施設に行く選択をすると思う。しかし３歳の娘を連れている状況では一時滞在施設に行くのは不安である。 多目的化粧室もないし、不特定多数の見知らぬ人たちの中に子供を連れていきたいとは思えない。 ■行動：YES 徒歩 20 分程度以内ならば一時滞在施設に行く。 理由：夜は屋根があるところが安心だから。 ●行動：友人や親戚がいてコンタクトが取れた場合→NO 子供がいる人同士の部屋が確保できた場合→YES ■要望：施設のキャパシティなどの状況に関する情報が欲しい ●提案：その際は名簿を作り貼りだして家族の迎えに備える。	■一時滞在施設・●状況次第	▲行動：改札口の看板では具体的な運転再開について触れていないので、駅員から直接状況を聞き出す。看板で見た情報よりも多少納得しやすい。 ■行動：改札口があふれていて情報が無い以上はその場から離れて安全な場所で休む。 ■行動：再開後すぐだと混雑するなどの情報があればしばらくは留まる。 ●行動：全体の災害情報、運行情報、池袋周辺状況などが分かれば施設に戻る。 ▲要望：東部や西部のようにグループ会社、バス会社などの連携を積極的に行って普段のルート以外も対応してほしい。 ▲要望：大雑把でもよいので「〇日後を目途に復旧する」というような鉄道復旧見込みに関する情報が欲しい ▲要望：子供用物資が充実している所の情報が欲しい。	▲自宅へ・●一時滞在施設
	② ２７歳主婦・息子一歳・ベビーカー・ 月１回利用	■状況：商業施設の中ということで、天井から物が落ちてこないか心配である。安全な場所を探せるか。子供の安全が大切。 ▲行動：西口公園などの屋外に避難するか、地下通路に行く。 理由：子供がいるので遠くまで移動できないから。 地下空間のシェルターなど天井からの落下物に強いもの、安全性が高いと感じられるから。 ●行動：ベビーカーの置き場について周りの店員にいろいろ聞く。 ●行動：家族との連絡手段を検討する（例：公衆電話） ■課題：商業施設の中は商品が散乱していて、ベビーカーでの移動が困難になる。 ●要望：子供用（乳幼児）の非常食が確保できる場所と、そこに行くための地図が必要である。	▲■一時滞在施設西口周辺の商業施設 ▲地下通路へ	●状況：池袋は都心なので「コンビニで小さい子の食べ物やオムツが買えるだろう」との考えから、親は予備を持っていない可能性もある。 ※区は倉庫に粉ミルク、紙オムツ多少あり ▲行動：一時待機施設には行かない、近くのホテルなど屋内施設で待つ。 理由：子供がいると煙たがられそうだから。資源があっても統制がとれていない場所は怖いから。　今後の運転再開やそれまでの所要時間、混雑状況が分かれば調整して帰ろうと思う。 ■行動：商業施設に留まるトイレが停電で使用できないので、子供のおむつを替えたり、ミルクをあげたりする場所を探したい。 ■課題：ベビーカーなので階段が使えない。停電の為エレベーター、エスカレーターが使えない。地下へ避難することが困難。 ●要望：子供用の非常食があるところが知りたい。 ●要望：迷った際に自分の現在地が分かる貼紙が欲しい	▲ホテル等の屋内施設・■商業施設	▲行動：NO 一時滞在施設には行かない。地下通路又はホテルに滞在する。 理由：自治体住民ではないので躊躇する。 ■行動：YES 一時滞在施設に行く。 理由：子供がいるので歩いて帰れない ■行動：公衆電話を利用して車で迎えに来てもらえないか連絡する。 ●行動・心情：YES 一時滞在施設に行くが、子供の夜泣きが心配。 ●行動：家族と合流できればその場所へ移動する。 ■課題：ぐずると周囲に迷惑がかかりそう。子供用のミルクなどあるのか。	▲地下通路/ホテル等の屋内施設、▲ホテル等の屋内施設・■一時滞在施設一時滞在施設	▲行動：もと居たホテルに戻る。家族の安否確認を行う。 ■行動：運行再開が分かるようなボードを探しそれが見える所で待機する。 ■行動：歩いて帰りたいが子供がいるので難しい。運行再開して落ち着いた頃に帰る。混雑の中帰宅するのは厳しい。 ●行動：再開した交通機関を使用し、少しでも自宅へ近づく。 ▲要望：改札付近の混雑状況、運転間隔、車内の混雑状況、どこまで再開しているかが知りたい。 ■要望：混雑しているかどうかの情報が欲しい。 ●要望：途中までのものでも情報がほしい	▲ホテル

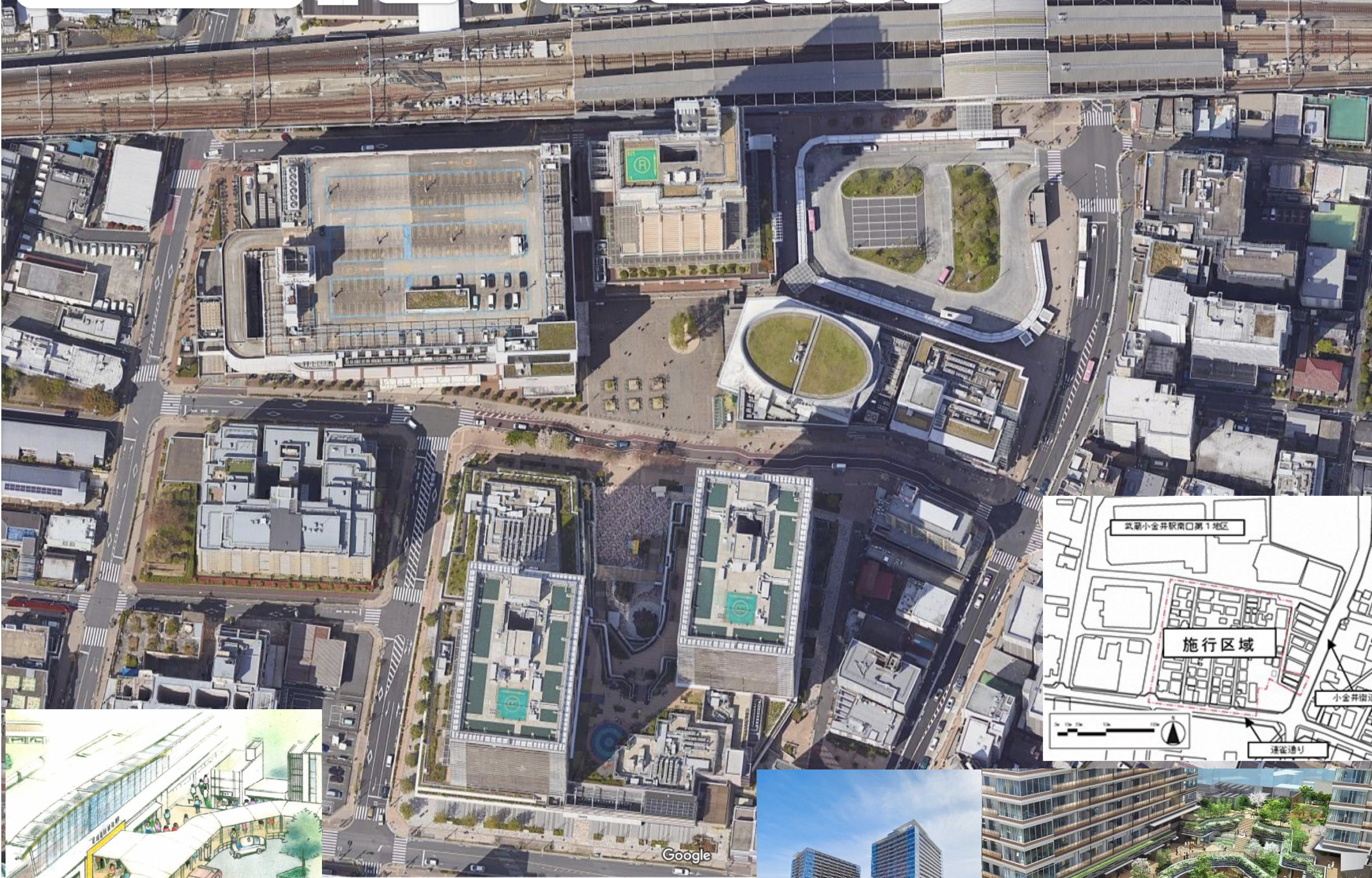
池袋駅ブランディングWS 参加者アンケート結果

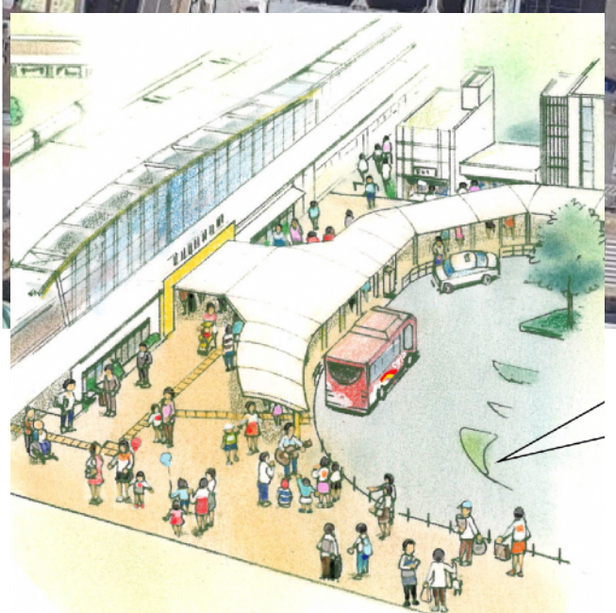
	20代	30代	40代	50代	小計
よかった	2名 (20%)	0名 (0%)	4名 (40%)	4名 (40%)	10名 (100%)
まぁまぁよかった	3名 (25%)	2名 (17%)	2名 (17%)	5名 (42%)	12名 (100%)
合計	5名	2名	6名	9名	22名

・WS評価は5分位法.「3.どちらでもない」以下の回答は無.
・60代以上の参加者はゼロ.
・男性15名(63%)／女性8名(33%)
・男女間でWS評価に有意差なし
・第4回時にアンケート実施

WS評価回答の理由

・各事業者の方の意見がとても勉強になりました．各事業所の方と一体感が生まれ，連携が取れた.
・役所，鉄道事業者，商業施設等，の多様のステークホルダーが参加して，素晴らしいWSでした.
・参加された方，全員がほぼ発言出来ていた．お客様視点で駅構内の事を考える事ができた.
・普段関わりのない方々や事業の方とこういう機会でWSをやる事などでもいい経験をする事ができたと，勉強できたと思いました.
・自社ビル管理だけでなく，地域での危機管理について意見交換，チームアウトプットワークが大変勉強になりました．有意義でした.
・社外での活動が初めてで，他業種．同業他社の方の意見，取り組みがとても新鮮，かつ刺激を受け勉強になりました．ここでの知識，体験を自分の勤め先にも取り入れられることがあるのでは...
・広い視野で震災を見れる目を養えました．グループ討論も難しかったですが，豊島区がより発災時，どこよりも素晴らしい対応ができる区になることを熱望します.
・一回目なのでメンバーも何をやっていいか，戸惑っていた．二回目以降は順調でした．来年以降は充実なWSになると思ってます.
・考える場，提案する場として，とても良い取り組みと思いました．大事なのはこの後，実現できることをまとめ，実行することと思います.





武蔵小金井駅南口

日常的な利便性・快適性

災害時の駅前滞留者対策

基本目標４（安全・安心）：
誰もが安全で安心して暮らすことができるまち

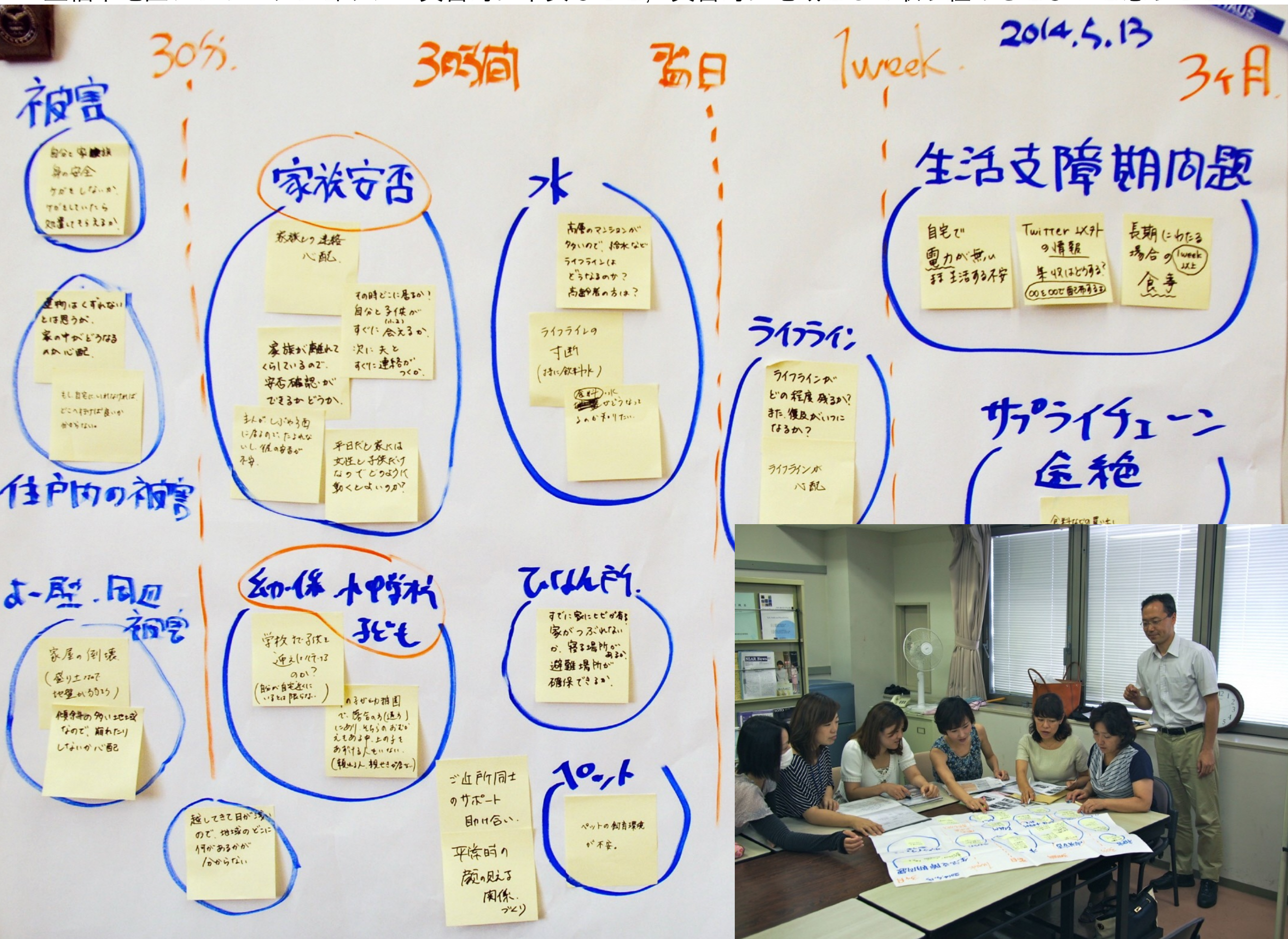
南大沢上柚木地区での地域防災活動の経緯（首都大とのコラボまで）

☑上柚木地区の特徴

- 多摩ニュータウン内（最寄り駅は南大沢）／集合住宅世帯が多い
- 自治町会が未組織の地区もある．集合住宅管理組合が自主防災組織の主単位
- 東日本大震災まで，地域としての防災活動は特になし

2011年3月11日	東日本大震災発生 ・20%の世帯で当日帰宅できない家族あり（市古研究室推計値） ・中学校PTAが母体となり，支援物資を集め，福島へ持って行く．
2011年6月頃	地域としての防災訓練を3小中学校PTAが発意． ・**青少対（青少年対策地区委員会）の取り組みとして実施**へ．
2011年10月	第1回上柚木地区地域防災訓練
2012年10月	第2回上柚木地区地域防災訓練
2013年10月	第3回上柚木地区地域防災訓練（15種類） ①初期消火訓練，②バケツリレー（児童館主催），③車イス避難体験（社会福祉協会主催），④無線通報訓練，⑤ロープ結索訓練，⑥煙ハウス体験，⑦AEDと包帯法，⑧防災倉庫見学，⑨簡易間仕切り体験，⑩警察車両展示，⑪はしご車展示，⑫防火衣体験，⑬D級ポンプ訓練，⑭倒壊家屋からの救助訓練，⑮起震車訓練，
2014年1月	東京都多摩消費生活センターのセミナー 「東日本大震災に学ぶ新しいBosaiのカタチ」の受講と相談
2014年5月	首都大とのKick Off会議

上柚木地区プレワークショップ：災害時に不安なこと，災害時に地域として取り組めるとよいと思うこと



八王子市上柚木地区地域防災連携準備会 地域防災WSに向けた実行委員プレWS結果

2014.5.13

30分 | 3時間 | 翌日 | 1week | 3ヶ月

被　害

自分と家族
身の安全
怪我をしないか
していたら処置してもらえるか

住戸内の被害

建物は崩れないとは思うが家の中がどうなるのか心配

もし家にいられなければどこにいけばよいかわからない

擁壁・周辺被害

家屋の倒壊
（盛り土なので地盤が弱そう）

傾斜の多い地域なので、崩れたりしないか
心配

越してきて
間がないので、
地域のどこに
何があるか
わからない

家族安否

家族との連絡が心配

家族が離れて暮らしているので
安否確認ができるかどうか

主人が渋谷方面にいるので頼れないし、彼の安否が不安

その時どこに居るか？
自分と子供（小2）がすぐに会えるか
次に夫とすぐに連絡がつくか

平日だと家には女性と子供だけなので、どのように動くとよいのか？

幼・保・小中学校

学校まで安否確認に行けるのか？（自分が自宅近くにいるとは限らない）

下の子が幼稚園で落合の方（遠方）にあり、そちらのお迎えもある中、上の子を預ける人もいない
（頼れる人、親戚が居ない）

水

高層のマンションが多いので、給水などライフラインはどうなるのか？
高齢者の方は？

ライフラインの寸断
（特に飲料水）

食料・水がどうなるのか知りたい

避難所

すでに家にヒビがある
家がつぶれないか、
寝る場所があるか、
避難場所が確保できるか

ペット

ペットの飼育環境が不安

電気
上水道
都市ガス

中学生ができることを考える

中学生
（10/5は中間試験前）

生活支障期問題

自宅で電力がないまま生活する不安

Twitter以外の情報収集はどうする？
“○○を○○で配布する”など

長期（1week以上）に渡る場合の食事

サプライチェーン途絶

食料などの
買い出しが不安
（ガソリン含む）

[A]地域からみた平日の帰宅支障問題

[B]幼・保育園での児童の安否確認と引き渡し

[C]集合住宅でエレベーター停止

[D]学校避難所に行くべき条件は?

[E]トイレ問題

[F]水の確保問題

[G]ライフライン&サプライチェーン停止

[H]女性の視点から

上柚木地区 防災グループトークの成果

☑お母さんたち女性スタッフの「気づき」

●災害時の水の問題に絞ってトークしてみたことで，学校備蓄の期限切れの水ボトルを卒業の際にでも持って帰ってはどうかと思った.

●子どもの安否．引き取り／パパの帰宅困難／ライフライン停止といった状況を鑑み，小中学校の役割と上柚木らしい避難所開設手順を考えておきたい.

●地域と小中学校との「よい関係」をいかにつくるか．平常時の関係性が災害時につながることを改めて意識した.

●これまでは決められた係りと思って，組織のために取り組んできた．防災トークをやってみて「子どもを守る環境づくり」に自分の頭の中でつながった.

●「『出てよかった』という声をたくさんいただいた」家族で楽しめるように「子どもと一緒にトーク」にしてみたい

☑次回につながった

・「地域防災として何をしなければならないか」ではなく

・「大地震時にどんなことが起こりそうか，何が不安かしら」という点を出発点に.

↓【主体意識を持って進行】

・「組織のために」ではなく「災害時に子どもをみんなで守る」という2011年当時の気持ちに近い感覚に.

◉2015年度は，市役所とパートナーシップ型で，具体の対策までつなげたい！

八王子市上柚木地区地域防災訓練 2014年度以降の取り組み

2014年度	**上柚木防災グループトーク（第4回上柚木地区地域防災訓練）** ・2回のプレワークショップ+ふり返りの会 ・災害時に不安なこと，災害時に地域として取り組めるとよいと思うこと. ・実技訓練だけでない「トーク」から防災の輪が広がることへの手応え
2015年度	**子ども防災プログラム並行型 防災グループトーク** ・準備会議や体制は同じ（役員は年度入れ替り） ・学校で実施するのだから「学校避難所」についても検討したい. ・子どももいっしょに体験できるプログラムを！
2016年度	**子ども防災プログラム並行型 防災グループトーク** ・「一気に課題解決提案」までいかなくても，「災害時の課題を共有」も意味はある ・参加者の防災意識の多寡を考慮したグループ分け（上級・中級・初心） ・子どもプログラムとしての「地震ざぶとん」
2017年度	**お父さん朝練Project並行型 防災グループトーク** ・参加者の防災意識の多寡を考慮したテーマ設定（上級・中級・初心） ・8:00に集合し，臨時給水栓を組み立て訓練（お父さんチーム） ・災害時の水の確保に関するワークショップの試行
2018年度	**災害時の避難所・子どもを支える場としての学校** ・夏休みに100名超の参加のある「サバイバルキャンプ」を長年実施している小学校 ・生活再建（給水，トイレ，物資，情報，子ども）拠点としての学校

2017年度 上柚木地区 地域防災訓練会場レイアウト（2017/9/24）

上柚木中学校　会場案内図　2017. 9. 24

駐車場

許可車両のみ
駐車可

体育館

ステージ

ローリング
ストックとは
α米展示
＆調理

α米が食べられるようになるまでの変化を見てみよう。その他、お勧めのストック食品をご紹介。

ポスター展示

児童館の先生と一緒に　子供の遊び体験
避難所で、子どもはじっとしているべき?
どんな遊びがいいのかな？

URA室の方と
防災トレーラーハウスのデザインゲーム

復興対策として注目されているトレーラーハウスを自分でカラーデザインし、組み立てて、上柚木小学校の校庭見本に飾ってみよう。

中学生コーナー

ブルーシート

お菓子
OKエリア

ポスター展示

入口

地域の防災を考える
グループトーク

首都大学東京　市古太郎教授

テーマごとに別れて話し合いましょう
☆家庭防災＆災害時にもつながる平常時からの地域での関係性づくり
☆できますゼッケン
☆マンションでの防災への備え
☆災害時の水を考えるワークショップ

首都大学東京
市古先生監修のグループトーク
地域住民として防災について
一緒に話し合ってみましょう。

トイレ

赤ちゃん
ルーム

マンホールトイレ

駐輪場

消

西門

受付　受付　受付

初期対応訓練(倒壊救助訓練)

校舎　　立ち入り禁止

2017.6.20 上柚木.

水

生活用水

体つき
ぜひ

お風呂に、水を溜めてある

お風呂の残り湯もためている。(本当は嫌)

風呂……せんたく…トイレ……飲む以外の水はどうやってムダなく使うのか.

飲用とは別に上水以外風呂洗い用など考えても足りない?

飲料

食べる水や お茶はキープ

常にペットボトルの水を備蓄している。

ペットボトルでのびちく. 2ケースは常備. (24L) → 8日分?

ペットボトルで備蓄.

・古くても水(ペットボトル)はキープしてある

備蓄は4人で3日分しかない

冬はいいが夏の暑さの中の水分… クーラーきかないし.

不安な事

ガマン
復旧に何日かかる?
いつまで?

備蓄(のみみず)1、2日分
家の量

水は足りるのか?

家族4人どのくらいの量を備蓄しておけば安心なのか?

一人暮らしで水の確保をあえりしていない。

(とりに)給水

いつまで断水が続くのか? 特にマンション

どこに水をとりにいくのか?

息子に給水に行かせることはできるか.

入れ物は?

給水拠点まで無事たどりつけるかどうか不安。

運びやすいカタメのペットボトル

リュック

給水とりの場所チェック

マンションのトイレの使用可はんだん OKいつ?

トイレ問題

トイレの汚物はどうする?

災害用トイレ 50回分 3000円

トイレは災害時、どのタイプ使用すればいいのか?

トイレが流せるか. 1Fなので…つまったら困る.

トイレは流さない ビニールで保管

ひなん用トイレが5回分(がたまるやつ)

食べ物系

食べ物も水っぽいものもキープ

割りばしとラップと紙皿を買いおきしている.

ラップとジップロックは常備している.

お湯だけで食べれる食品の用意

地域の井戸の場所チェック

山梨では井戸. 都会では足りるの?

参加者

上柚木中 小林さん. 上柚木小 安田さん. 水道局 村山さん.
上柚木中 原子さん, 愛宕小 森さん, 入畠木 貴家さん
建設技術研究所 稲吉さん.

臨時給水栓組み立て体験訓練(2017/9月)

災害時の水の確保を考えるグループワーク Program

【60分間】

ワーク1：わが家の水チェックシートの記入と共有

・家庭での水備蓄状況／家族構成を踏まえた備蓄で過ごせる日数算定.

ワーク2：大災害時の水の確保に関する防災クロスロード

Q1:学校避難所の応急給水所で長蛇の列．避難所スタッフから「1人2Lまでの給水に協力ください」と呼びかけ．協力する／しない?

Q2:断水継続中．中高層集合住宅で在宅避難されている高齢者や乳幼児世帯向けに「水配達ボランティア」の提案．協力する／しない？(2017年度)

Q3:避難所に備蓄している「給水袋」の配布方針．求めに応じて／適切な事由があれば(2018年度)

ワーク3：グループ討論

(1),(2)は2017年度，(3),(4)は2018年度

(1)家庭と地域での「水の確保」に関する備えについて

(2)グループワークをやってみての気づきや感想

(3)各家庭において，応急給水のために必要となる情報

(4)必要な情報をどんな媒体で，どう周知されることが望ましいか？

Q2 避難所運営地域組織としての高齢者世帯への水配達ボランティア

フェーズ	**地震発生 28 時間後（上柚木中学校での臨時給水施設）**	
回答者の立場	上柚木中学校の避難所運営委員です	
状況設定	断水継続中です．朝の避難所運営会議で， 「お年寄り世帯や乳幼児のいる家庭へ，水を届ける取り組みをしてはどうか，団地に住む世帯や中高層住宅で EV が使えず，苦労しているようだ」との提案がありました． 避難所運営委員だけで取り組むとなると，その他の任務と兼務になります．	
選択肢	**Yes:** 運営会議として水を届ける取り組みをする	**No:** 気持ちはわかるが，水を届ける取り組みには反対
Y/N 回答数 #	**8 人**	**5 人**
Y/N 回答理由	・自分にできることはやりたい ・ご近所への水の共有くらいであれば支援する ・わたしたち中学生にもできそう．	・避難所運営委員が倒れてしまう． ・家に乳幼児がいて，できるかどうかわからない ・支援が必要な世帯は，避難所で生活してもらう方がよいのではないか ・単純に頼まれた人が引受けるのはよくない

防災ワークショップ２０２０　報告書

実施日　：令和２年１０月２４日（土）　会場：愛宕小学校　体育館
テーマ　：コロナ禍でも災害は来る。どんな避難所がいい？
形態　　：個別体験型ワークショップ
主催　　：青少年対策上柚木地区委員会
協力　　：東京都立大学　災害復興・都市防災研究室　市古教授　市古ゼミの皆さま
時間　　：給水訓練見学　　９：３０～１０：００（八王子市役所水道課の方々による実施）

愛宕小（低学年）	１０：００～１０：３０
（高学年）	１０：３０～１１：００
上柚木小	１１：００～１１：３０
上柚木中・地域の方	１１：３０～１２：００

【参加者数（受付数）】
高校生以上　１０２名
中学生以下　　２３名
計　１２５名

～はじめに　コロナ禍での感染拡大防止対策について～

今年度の防災ワークショップはコロナ禍であったため、以下の感染症対策を取りながら開催をした

＜事前対策＞

- 運営スタッフ、当日のお手伝いスタッフ（青少対防災実行委員、都立大関係者、愛宕小保護者、上柚木小保護者、上柚木中保護者）全員の２週間前からの健康観察（発熱の有無、体調の変化の有無等）を行う
  当日、健康観察表の提出。体調不良のあった者は参加不可とする

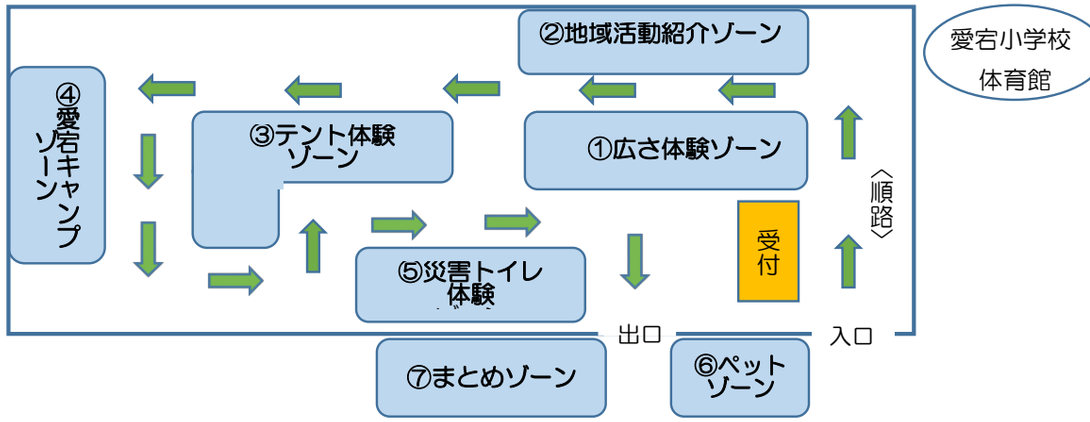
＜当日対策＞

- 来場時間の分散（所属により来場時間を３０分ごとに区切る）
- 『避難者登録書』の参加者全員提出。万が一感染者が発生した場合に感染拡大防止に使用する目的
- 来場時間が分かるように、『避難者登録書』に時間帯ごとに色を変えて色ペンで印をつける
- 『避難者登録書』『ポストイット』を書く鉛筆は、そのまま使用者に持ち帰ってもらう
- スタッフ全員マスク着用。来場者のマスクの着用のお願い（チラシ、一斉メールでのお願い）
- 入場時、非接触型体温計による検温（３７．５分以上の体温の場合、入場をお断りする）
- 入場時、アルコールによる手指消毒
- 会場は常時換気（出入り口、窓、キャットウォークの窓を全て開ける）
- 会場は入口から出口まで一方通行とし、来場者同士のソーシャルディスタンスを保つよう注意喚起の掲示
- 広さ体験ゾーンなど、触ったり座ったりする箇所にはアルコールを置き、都度スタッフが消毒をする

＜内容＞

❖愛宕小学校の体育館を仮想の避難所に見立てた【周回型の個別体験型ワークショップ】

➡７つのゾーンに分かれており、順路に従って一方通行で見学、体験する



１）　広さ体験ゾーン

❖避難所での生活の広さを実際に体験できるゾーン

４つの広さの設定があり、実際の広さを体感できる

① １人あたり１㎡　　（一時避難場所）

② １人あたり 1.65 ㎡（避難所の銀マットの広さ）

③ ４人で４畳半　　（４人で避難した時の広さ）

④ １人で４㎡（ソーシャルディスタンスの避難所）

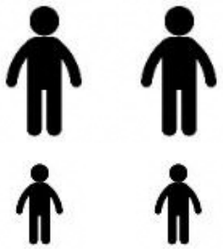
１人あたり１㎡

一時避難場所
地震や火災が発生した時に様子を見るため、とりあえず避難する場所。公立の小中学校、大学などが指定されています。

１人あたり 1.65 ㎡

避難所での１人あたりの面積
１ 人あたり畳１畳（1.65 ㎡）として、その建物の面積より避難所の収容可能人数を算出します。

４人で４畳半



家族４人で避難した場合
家族４人で避難した場合、４畳半の部屋の広さで家族で生活をする…と想像すると、イメージが湧きやすいのではないでしょうか

１人あたり４㎡

感染しない避難所
新型コロナウィルス感染症のような感染症が流行している中で感染しない避難所にする場合、１人あたり４㎡の広さが必要です。

❖避難所に持ち込む生活用品の展示

避難するときに持っていく荷物はどうする？何が必要？あると便利なものは？

～運営スタッフが『うちの避難用品』を公開し、展示をしました～

【避難所の生活用品の展示】

＜避難所の生活用品を見ながら…＞

『こういうものあった方が良いね』

『うちも用意しておこうかな』

『子供用のおもちゃも必要なんだね』

＜来場者から色々な感想や意見が出ていました＞

室内履きを
忘れた方用に

【新聞紙スリッパの作り方も紹介しました】

上柚木地区　年に１度みんなで防災を体験・考える日！

防災ワークショップ２０２２

日にち	２０２２年　１０月２３日（日）雨天決行
時間	午前９時００分～１２時３０分
場所	愛宕小学校　校庭・体育館・校舎内

持ちもの
上履き
外靴を入れる袋
水筒

タイムスケジュール

どなたでも参加できます

トーク グループトーク　２回
① １０：００～１１：００
ガイダンスとグループトーク
② １１：０５～１２：００
古地図ワークとグループトーク

体験 体験・見学　各４回
① ９：１５～ ９：４５
② ９：５５～１０：２５
③ １０：３５～１１：０５
④ １１：１５～１１：４５

体験は主に中学生が対象ですが
小学生・地域の方も見学、体験できます

体育館

トーク グループトーク
自主防災って？トイレってどうする？
マンションでの被災は。古地図で学ぶ！

展示 ポスターセッション
ポスターを見て地域の防災対策を知ろう

展示 ローリングストックを知ろう

非常食⇒日常の保存食
なにを備える？？

校庭

体験 給水訓練
八王子市に１台しかない給水車が来ます！
水はどんな容器に入れる？運ぶ方法は？

体験 応急給水訓練
スタンドパイプを立てる訓練です

体験 マンホールトイレ組み立て訓練

体験 初期消火訓練

体験 テントの組み立て体験

校舎内

体験 ＡＥＤの使い方を学ぶ

体験 １１９番かけてみよう
訓練用の電話を使って通報訓練
いざという時のために練習しよう

体験 救助体験
体重５０kgの人形を担架に乗せて運んでみよう

体験 トイレトラブルについて学ぼう

小学生 避難所持ち出しリュック
親子で防災リュックを考えよう
防災カルタで学ぼう

※感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。また、体調のすぐれない方は参加をご遠慮下さい。

実施団体：青少年対策上柚木地区防災訓練実行委員会、愛宕会、かみゆぎ会、上柚木中ＰＴＡ
協力団体：東京都立大学 市古太郎教授・市古研究室、八王子市防災課、
八王子市消防署由木分署、八王子市水環境課水再生センター、消防団１２分団

上柚木防災ワークショップ 2022 体験プログラムカード

2022 年 10 月　東京都立大学　都市防災・災害復興研究室

上柚木地区防災ワークショップ2022　応急給水訓練　E1

学校での応急給水(消火栓からの水の確保)

道路や学校敷地内に応急給水栓に使える消火栓があります。
消火栓の中の様子と給水のためのスタンドパイプを学びましょう！

体験訓練内容

応急給水の水源は？
各学校では、応急給水に使う消火栓は決められています。
愛宕小では？上柚木中では？

スタンドパイプの仕組み
どうやって組み立てて、設置する？
栓を緩めるレバーはどこ？

スタンドパイプを使ってみよう
うまく水が出せるかな？
応急給水栓機材セットも学んでみよう

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　給水車給水訓練　E2

給水車の仕組みと水の運搬を学ぼう！

災害で断水になった時、給水車が活躍します。
給水車の仕組みや、給水した水運びを体験してみよう！

体験訓練内容

給水車の働きを学ぼう
水タンクの容量は何リットル？
八王子市に給水車は何台ある？
満タンにしてもスピードは出るの？

給水体験をしてみよう
水を入れる容器は？何リットル入る？
こぼさないための工夫は？

給水した水を運んでみよう
どれくらいの重さになるかな？
うまく運べるかな？

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　マンホールトイレ訓練　E3

マンホールトイレの仕組みと使い方を学ぼう！

大災害時、学校や自宅のトイレが使えなく可能性があります。
学校に設置予定の「マンホールトイレ」を体験してみよう！

体験訓練内容

学校のトイレが使えなくなる!?
トイレが使えなくなる可能性があるのはなぜ？

マンホールトイレの仕組み
トイレの後、水を流すの!?
ウォシュレットやトイレットペーパーは使えるの？

体験し、使い方を考えよう
お年寄りでもスムースに座れるかな？
男女別に分ける時、1:1の割合でいいかな？

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　初期消火訓練　E4

火災発生時の初期消火を出来るようにしよう！

家の中で火がでたらどうしよう…
いざという時に消火器を使えるようにしよう！

体験訓練内容

火の性質を知ろう
火事はどうやって起こるの？
家で火事が起こりそうな場所は？
火事を見つけた時はどうするべき？

消火器の使い方を学ぼう
消火器にはどんな種類があるんだろう？
どの大きさの火まで使えるの？

消火器を使ってみよう
火を見つけたところから火を消すまで、実際に消火器を使って体験してみよう！

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　応急救護訓練　E5

災害時の応急手当を出来るようにしよう！

目の前で人が倒れたらどうしよう…
けがをして血が止まらなくなったらどうしよう…

体験訓練内容

AEDの使い方を学ぼう
AEDってどこにある？
どういう時に使えるの？
AEDの使い方を知ろう！

三角巾の使い方を学ぼう
三角巾ってなに？
どういう時に使えるの？
三角巾の使い方を知ろう！

応急手当をしてみよう
AEDや三角巾を使って、実際に応急手当を体験してみよう！

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　通報訓練　E6

緊急時の119番通報を出来るようにしよう！

火事を見つけたけど、通報の仕方がわからない…
倒れてる人がいるけどどう通報するんだろう…

体験訓練内容

119番通報はどこに繋がるの？
消防と救急の違いは？
何を伝えたらいいの？
住所がわからないときは？

＃7119ってなに？
119番との違いは？
迷った時はどうしたらいい？

通報訓練をしてみよう
消防職員に電話をかけて、実際に通報訓練を体験しよう！

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　救出救助訓練　E7

災害時に救出救助を出来るようにしよう！

安全なところまで移動させたいけど…
人を運ぶための道具が近くにない…

体験訓練内容

どうやって人を運ぶの？
担架ってなに？
どうやって使うの？
担架の使い方を知ろう！

担架を作ってみよう
周りにあるものをイメージしてみよう！
実際に担架を作ってみよう！

救出救助訓練をしてみよう
訓練用の人形を使って、実際に救出訓練を体験しよう！

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木地区防災ワークショップ2022　トイレトラブル解決訓練　E8

自宅避難で想定されるトイレトラブル解決策と知恵を楽しく学ぼう！

上柚木・下柚木地区は地震で家が壊れる心配はなさそう…
電気・上下水道が止まってしまったら、いつ回復するか心配…

体験訓練内容

災害時のトイレクイズ

1か月分のトイレットペーパーを備蓄するとしたら、
1人あたり何ロール必要かな？
使用済み携帯トイレの保管・廃棄はどうすればいいかな？

水を使わない災害トイレ体験

トイレが使えない時はどうする？
凝固剤（ぎょうこざい）や、カレー粉を使って臭い漏れ対策の体験をしよう

簡易トイレの種類を学ぼう
自宅で使える簡易トイレの紹介！簡易トイレの知識を深めよう！

学習シート記入
裏面に記入スペースがあります！

上柚木防災ワークショップ2022　テントの組み立て体験　E9

屋外での非難に備え、テント設営をしてみよう！

屋外での非難の場合、どうしよう…
テントは組み立てたことないのでわからない…

プログラム内容

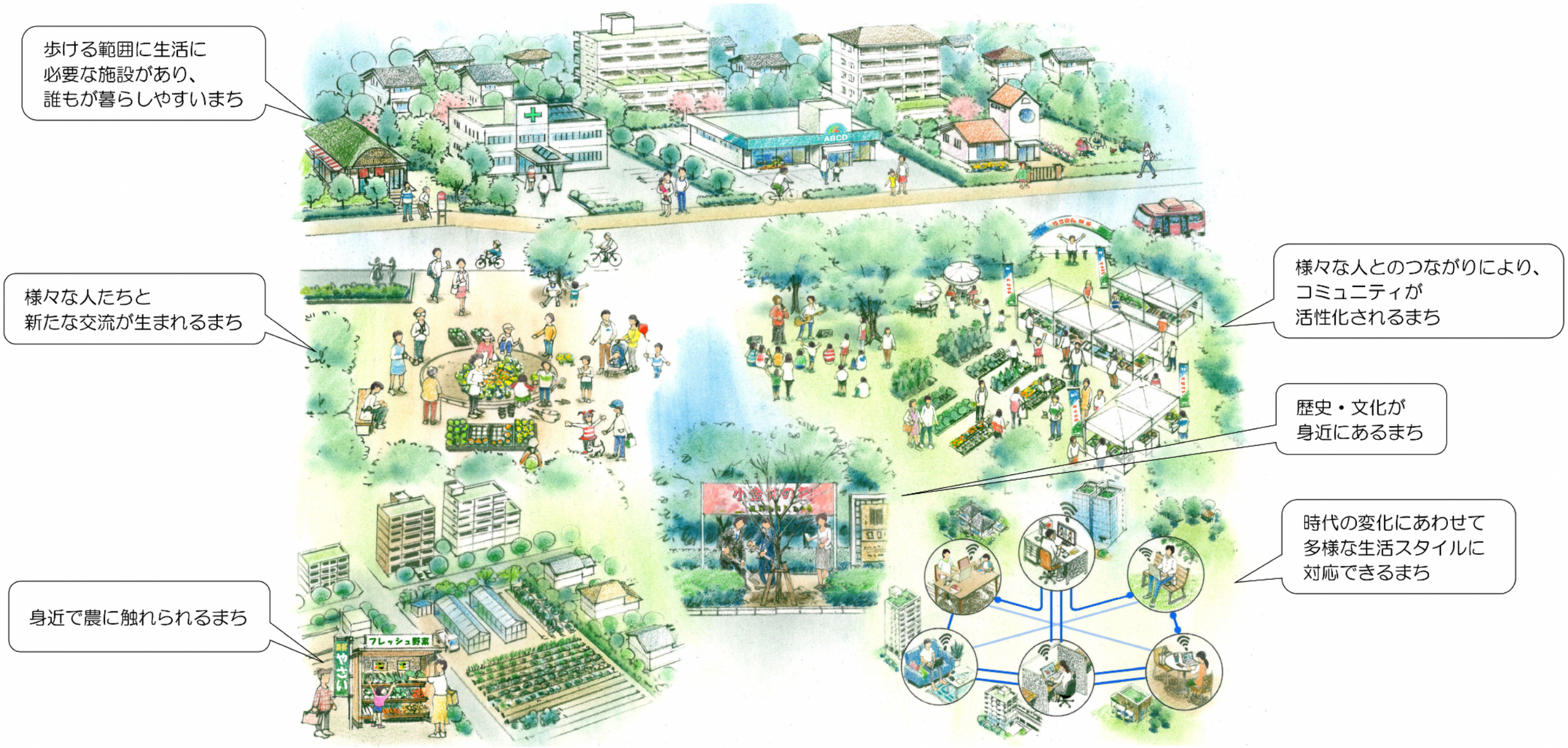
用具を確認しよう
テントはどんなものがある？
必要なものは？どんな道具を使う？
どういう場所に設営できる？

テントを設営しよう
実際にテントの設営体験をしてみよう！
協力しあいながら設営できるかな？

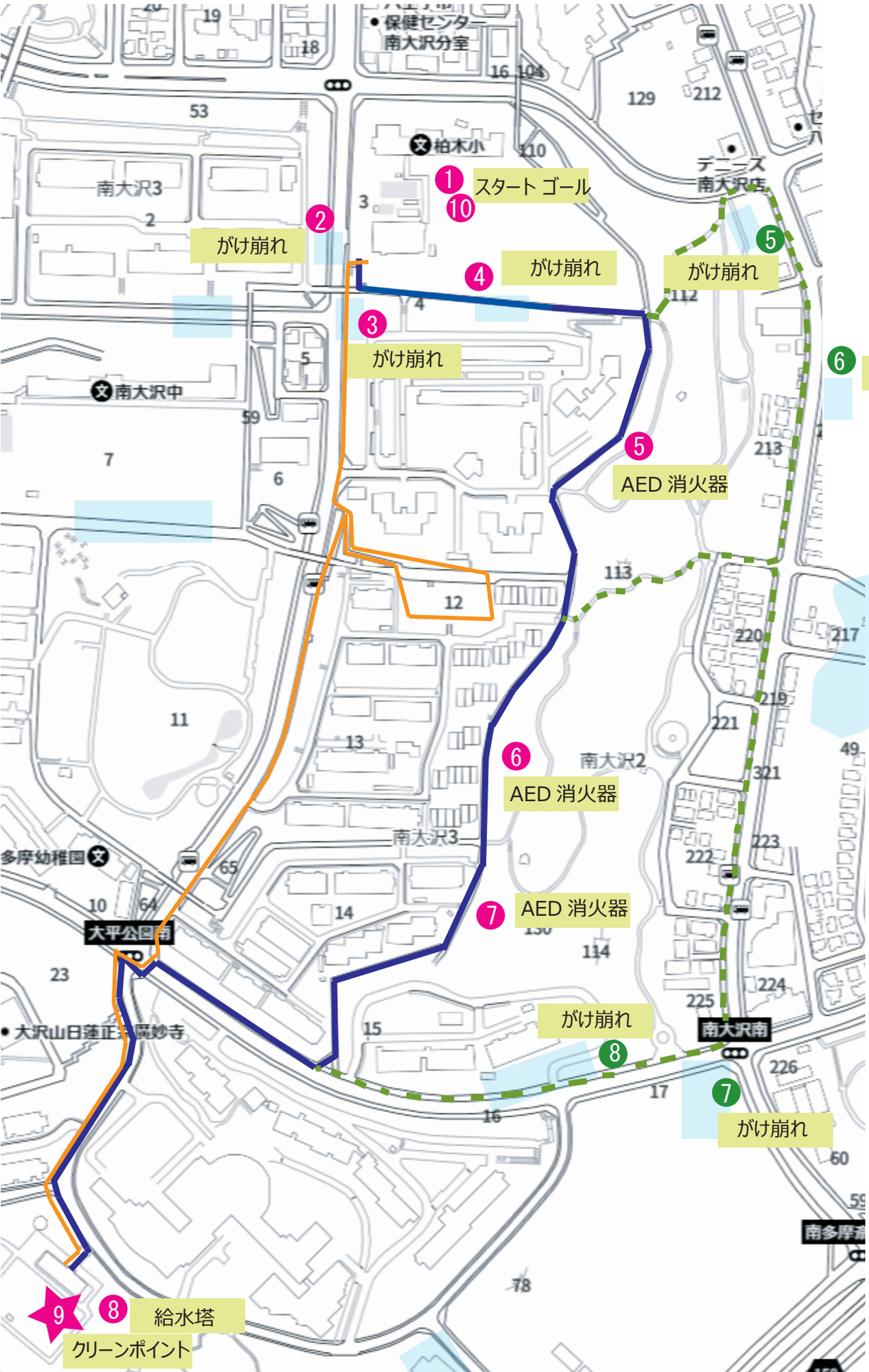
テントを片付けよう
組み立てたテントを、元通りに片付けよう！
テントのシートはちゃんとたためるかな？

学習シート記入　裏面に記入スペースがあります！

2022年度 上柚木地区 地域防災ワークショップ（2022/10/23）



基本目標５（生活環境）
一人ひとりの多様な暮らし方・働き方を支えるまち



南大沢防災まちづくりオリエンテーリング

南大沢まち点検

2020.11.1

○スケジュール

10時　南中駐車場集合
田中茂　青少対会長あいさつ
南中ブロック長あいさつ
市古先生より　都立大学都市政策科学科教授　日本建築まちづくり適正支援機構
特別顧問　東京都災害ボランティアセンターアドバイザー
事務局より説明とグループ分け → 柏木コース { 1・2丁目 3-4. 3-13. 3-14 3-15. 3-16 白立支援グループ さんぽ グループホーム くらら
10時15分　グループに分かれて点検開始

南小コース { 4-15. 4-16. 4-19 4-21. 4-24. 四季の丘 南多摩幼稚園

11時30分　柏木小　体育館集合
11時30分～グループワークで気付きまとめ作業（白地図＋フセン＋写真）
12時　佐藤信　防災会長より　あいさつ　解散

南中コース { 3-2. 3-8. 3-9 4-10. 4-12. 4-13 南大沢保育園 あすなろ保育園

○まち点検の目的

地元の危険箇所を確認する（土石流、崖崩れ、洪水、浸水）
災害時に有効活用出来るオープンスペースを確認する
→南大沢まち点検マップを作成し、住人に配布
地元を知ることで、防災を自分ごとと捉え、自宅で避難生活がおくれるよう
各家庭での備えを薦めてゆく

南大沢地域 防災便り No.2

（南大沢1～4丁目）

2022.3.15 発行
南大沢地域自主防災協議会
八王子市青少年対策南大沢地区委員会

緊急事態宣言中の2021年8月15日(日)南大沢に避難指示!!

その時あなたはどう行動しましたか？

8/15(日) 朝起きたら…
朝7時45分 南大沢にヒナン指示（ケイカイレベル4）
「対象：土砂災害ケイカイ区域内にお住まいの方」
南大沢1～4丁目
1,462世帯
（全世帯5,729世帯の25%）
南大沢 ヒナンシジ
南大沢の
総雨量 344.5mm（13日21：00～15日24:00）
最大雨量／1時間 52.5mm（15日5:50～6:50）

外はドシャ降り
市内 開設されたヒナン所は 2ヶ所のみ・しかも遠い!
富士森体育館
由木中央市民センター

どうする私!?
ヒナン所は遠い!?
コロナ 3密コワイ!
大雨の中 安全にヒナンできる？

「ハザードマップ」で
自宅のリスクを確認!!
ウチは
土砂災害ケイカイ区域？
洪水浸水想定区域？
check!!
・八王子市ホームページ
・東京防災アプリ（東京都）
・重ねるハザードマップ（国土交通省）
八王子市 総合防災ガイドブック

南大沢は家屋への浸水リスク＝低
土砂災害ケイカイ区域＝少

南大沢の75%
自宅が土砂災害ケイカイ区域外

安心して自宅にとどまれます

ハザードマップの浸水予想通り

キケン！
自宅が土砂災害ケイカイ区域内!!
南大沢の25%
南大沢地域には「がけ崩れ」と「土石流」のケイカイ区域があります

どっち？

ヒナンする
・マイヒナン先へヒナン
（近所のケイカイ区域外へ
友人・親せき宅へ
ホテルへ）
・ヒナン所へヒナン

自宅にとどまる
・自宅の「2階以上」かつ「出来るだけガケからはなれた部屋」に移動

今回は自宅ヒナンが正解でした♡
豪雨時のヒナンはキケン！
早めのヒナンが大切♥

その頃 地域では…
南大沢消防団・見まわり
小山内農公園・スタッフ・見まわり
南大沢地域自主防災協議会・情報収集・共有
くぼ地の道路が冠水！
柏木小交差点など

八王子市内のヒガイ
人的ヒガイなし
がけ崩れ：1ヶ所のみ
道路の冠水あり
開設ヒナン所へのヒナン者数
富士森体育館：0名
由木中央市民センター：9名

南大沢は浸水リスク:低、土砂災害リスク:低、地震危険度:低
自宅ヒナンの準備をしておきましょう!!

土砂災害への準備

- ☑ハザードマップで自宅のリスクを知っておく
- ☑土砂災害ケイカイ区域に住んでいたら、ヒナンするタイミングを決めておく
- ☑マイヒナン場所と冠水箇所回避ルートを決めておく

※大多数の方には、自宅ヒナンがおススメ！

- ☑モバイルバッテリー ☑懐中電灯（停電対策）
- ☑水の確保（停電すると水道が止まる事も）

大地震への準備

- ☑ハザードマップで自宅のリスクを知っておく

《自宅で死なない・ケガをしないために》
☑住居の耐震化 ☑家具の固定 ☑スリッパ生活

《自宅でヒナン生活出来るよう準備》
☑非常用トイレ ☑水 ☑食料
☑モバイルバッテリー ☑カセットコンロ など

スリッパ習かん 足のケガが予防

いつものモノをちょっと多めに買って古いモノから使う！
「日常備蓄」をおススメします！

南大沢地域自主防災協議会とこれまでの活動について

<南大沢地域自主防災協議会>は「共助の夢」として市と調整・協力し地域の防災活動を担っています！

<発足の経緯>
東日本大震災を受け、避難所開設・運営には学校と地域の連携が必要だと、当時の南大沢中学校校長の提案により、青少年対策委員会と3校学校運営協議会(南大沢小学校、柏木小学校、南大沢中学校)で協議を重ね、連絡協議会、町会、おやじ会の協力を得て
2013年　防災世話人会立ち上げ
2014年　南大沢地域自主防災協議会として発足、活動を開始いたしました。

<これまでの活動>
2014～2019年：避難所開設・運営訓練（3校　持ち回り）
コロナ禍では　密を避けて：
2020年:防災まちづくりオリエンテーリング
→防災まち点検マップ作成配布
日常備蓄のススメ作成配布

構成　避難所（各学校ごとに）ブロック化

南大沢地域自主防災協議会
会長1名、副会長2名、事務局
約10名のボランティアで運営中

行政 ⇔ 南大沢小ブロック / 南大沢中ブロック / 柏木小ブロック ⇔ 各学校長
（　）は自主防災会なし

ブロック長：
⑧4－15都営南大沢団地
⑨4－19パークサイド
⑩4－21ホームタウン
⑪四季の丘
（4－16コーシャハイム）
（4－24トミンハイム）
南多摩幼稚園
南大沢西学童

ブロック長：廣瀬正直（4-12在住）
⑤3－2グリーンコーブ
⑥4－12グリーンライフ
⑦4－13ライネスハイム
（3－8都営南大沢団地）
（3－9コーシャハイム）
（4－10シティハイツ）
南大沢保育園
あすなろ保育園
南大沢学童

会長兼ブロック長：佐藤　信（2丁目在住）
①1丁目・2丁目町会
②3－13グリーンメゾン
③3－14グリーンメゾン
④3－15都営南大沢団地
（3－4都営南大沢団地）
（3－16トミンハイム）
自立支援グループ　さくらんぼ
グループホーム　くらら

2021年度　活動報告

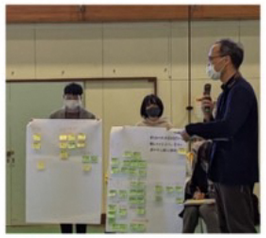
2021年度　南大沢地域自主防災協議会　**3ブロック合同防災訓練** 2021.11.13

<参加者>自主防災会担当者、緊急応援職員、防災課、学校関係者、市古ゼミ、小中保護者、協議会メンバー　約50名

第一部：避難所開設訓練
<想　定>多摩直下型地震発生　震度6強
<内　容>施設の開錠、安全確認方法、避難所開設準備

第二部:ぼうさいテーブルトーク
アドバイザー:東京都立大学　**市古太郎教授**
<説明>南大沢地域の特性と自主防災協議会について
<内　容>南大沢地域の特性と自主防災協議会について
災害時の初動体制と自宅避難生活への備えについて取り組みの共有、開設訓練の振り返り

<会場>南大沢中学校



大地震発生時の避難所の初動体制を確認し、各自主防災会との情報共有・連携強化の必要を確認する機会となりました。今後も南大沢自主防災協議会は、つながり合う機会を作り、地域やご家庭での備えの大切さを発信していきます。

【発行元】八王子市南大沢地域自主防災協議会
会長 佐藤 信
八王子市青少年対策南大沢地区委員会
会長 田中 茂
【ご意見・お問い合わせ】minamiosawa.jishubousai @gmail.com

協議会スタッフ募集中！気軽にご連絡ください